

V-Campus 6th 更新

－ p2.IDC・監視 －

1. 概要

p2. IDC・監視においては、V-Campus 5th以降特に問題としてはいなかったものの、IDCにかかるコストが大きい事より、他のベンダーから提案を受けることで費用圧縮につながるのではという思惑のもと、今回の更新となった。

加えて、市場ではクラウド化によるコスト削減の動きが加速しており、本学においてもクラウド化を検討し要件として提示した。

結果、現行ベンダー含め 3 社からの提案を受けたが、現行ベンダーより安価で品質を維持できるベンダーはなく、現行ベンダーの継続となった。

2. 更新のポイント

今回の更新ポイントとしてはクラウド環境の構築である。将来的にはフルクラウド化を目指し、その為の試運転として、メール環境のバックアップ対策をクラウド環境に構築した。

また、もう一つの課題であった「サーバリソース増大対策」についても、p6. サーバ・ストレージ更改案件担当ベンダーと協力し、仮想環境を大幅に設けることでオンプレミスの削減を可能とし、リソース増大によるコストを抑える対応を実施した。

3. p2. IDC・監視のまとめ

今回の更新では、コスト削減が大きな要件であったが、思ったより効果は見られなかったものの、クラウド化を行えたことは大きなメリットとなった。

今後、状況を見ながらオンプレミスの環境をクラウド環境に移行する等検討していく。

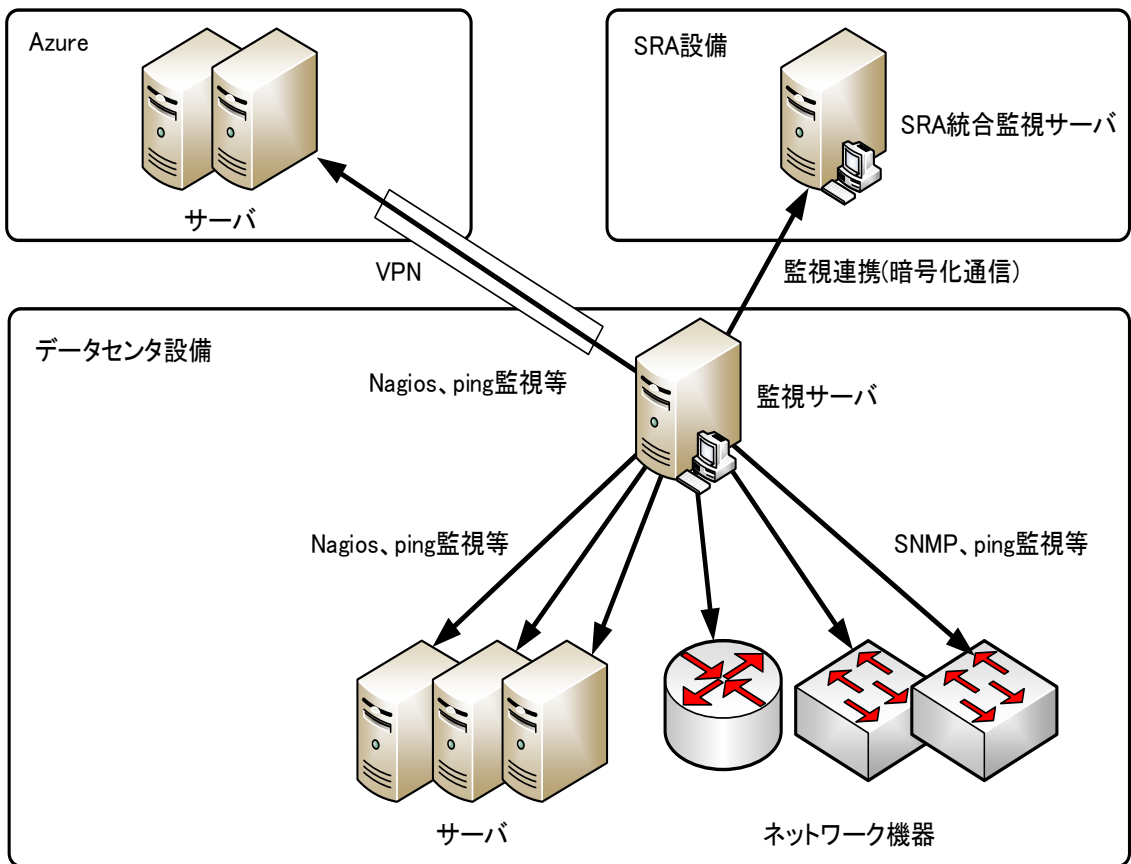


図 1 : IDC 概要図